

授業科目名(英文名)bbb / Course title	英語論文作成 / Academic writing				
担当教員(所属) / Instructor	未定 (非常勤講師)				
授業科目区分 / Category	大学院共通科目				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第3ターム / Term 3 水/Wed 3	対象所属 / Eligible Faculty			
時間割コード / Registration Code	950051	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code	2X1-32055-0100				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact					
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL					
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice 更新日 2022/03/28					
この科目の開講方法(遠隔・対面)及び開講場所等について、調整中です。シラバスの内容についても変更となる可能性があります。詳細は、決まり次第お知らせします。					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
科学論文や技術報告書を正しい英語で分かりやすく書くための文法的な基礎知識を身につける。論文等にかかれた英文の構造を分析して正しく読み取ることができるようにする。					
達成目標 / Course Goals					
英作文の基礎となる文型をしっかり身につける。すなわち、能動態の文を受動態に、受動態の文を能動態に変えることができるようにする。名詞、動詞、助動詞、形容詞、副詞、接続詞など英文の構成要素としての品詞の使い方、注意事項を学び、文の構成方法を身につける。					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					
第1回 文の骨組みと文型の理解, 能動態と受動態の変換 第2回 名詞の種類(可算, 不可算, 可算または不可算) 第3回 冠詞の付け方(aとtheと無冠詞, 冠詞の省略), 固有名詞と冠詞 第4回 動詞と助動詞(主語と動詞の数の一致, 自動詞と他動詞の区別, 分詞の使い方, 助動詞の使い方) 第5回 形容詞の限定・叙述用法, 形容詞の並べ方, 比較級と最上級 第6回 副詞の位置の注意点, 前置詞の使い方 第7回 接続詞の注意点(重文・複文とコンマの有無, 同格のthat, 時制の一致) 第8回 試験					
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class					
あらかじめ, 教科書の授業予定範囲について, 太字の部分とその周辺を読んてくること。また, 授業後は教科書の授業範囲について, 太字部分を再確認した上, 最低でも声を出して例文を2~3回ずつ読むこと。教科書付録の演習問題を解いておくこと。					
キーワード / Keywords	文型, 能動態, 受動態, 名詞, 冠詞, 動詞, 助動詞, 形容詞, 副詞, 前置詞, 接続詞				

履修上の注意 / Notices	この授業は正確な英語を身に付ける学校教育の最後の機会となるであろう。正確な英語を身に付けたい人は心して受講すること。
教科書 / Required Text	
参考書 / Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	「楽しく悩ましい科学論文英語(増補改訂版)」(出版者:富山大学生協)著者:山崎登志成 この本は従来の東京図書出版のものと同等のものです。教科書は生協書籍部で販売します。
成績評価の方法 / Evaluation	試験による理解度検査の結果に基づいて評価する。 出題は原則的に日頃行う演習問題の中から行うので全員90点以上を目標にする。  評価基準 ・達成目標に示す内容の理解度を試験により評価する。
関連科目 / Related course	
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	質問があれば授業中及びその前後に受けます。メールyamazaki@ems.u-toyama.ac.jpでも常に受けます。 開講期間でなくても構いません。